

### 点検チェックシート(アナログデータ集録装置 NetLG-102)

地点		実施日	年	月	日	実施者		天候	
----	--	-----	---	---	---	-----	--	----	--

【集録装置】  
 型 式 NetLG-102  
 製 造 番 号 No. \_\_\_\_\_  
 ROMバージョン ( ) \_\_\_\_\_  
 製 造 年 月 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

【観 測】  
 半自動(機器単独)  
 通信機接続  
 無線機→通信器接続

【接続機器】  
 水位計  
 気象観測機器  
 その他 ( ) \_\_\_\_\_  
 型 式 \_\_\_\_\_  
 製造番号 No. \_\_\_\_\_

【機器基本設定】

ネットワークアドレス	#	
インターバル		
インターバル6時間以上の記録時刻		
電 源	外 部	V
時 計 確 認		<input type="checkbox"/>
内 部 温 度		°C
ノイズフィルタ		Hz

記録停止時刻 時 分

停止時データ	瞬時	平均	経時変動1	経時変動2	経時変動3	経時変動4	センサ出力

時計修正	実施 <input type="checkbox"/>	未 <input type="checkbox"/>	データ回収	実施 <input type="checkbox"/>	未 <input type="checkbox"/>
分	進み遅れ	修正	ログデータ回収	<input type="checkbox"/>	

・センサセットアップ確認

センサ電源	絶縁電源 / スルー電源
センサ測定レンジ	4~20mA / 0~1V 0~5V / 0~10mV
変換係数	
オフセット	
単位	
センサブレイク	秒
データ平均	<input type="checkbox"/> 有 秒 / 分 <input type="checkbox"/> 無

物理量データの範囲  
 変換係数 = \_\_\_\_\_  
 センサ出力の範囲[μA or mV]

物理量データ = センサ出力[μA or mV] × 変換係数 + オフセット

例: ■ 0~10mに對し4~20mA出力センサの場合  
 変換係数: (1000-0cm) ÷ (20000-4000 μA) = 0.0625  
 物理量データ: 4000 × 0.0625 = 250.00  
 4mA入力でデータ「0」にしたい場合にはオフセットは 「-250.00」

例: ■ -40°C ~ +60°Cに對し0~1V出力センサの場合  
 変換係数: (60 - (-40)°C) ÷ (1000-0cm) = 0.1  
 物理量データ: 0 × 0.1 = 0.0  
 0V入力で「-40」にしたい場合にはオフセットは 「-40.0」

・警報設定確認

	監視項目	警報値	ヒステリシス値	アラート		経時 日数設定
				番号	宛先	
警報 1					#	
警報 2					#	
警報 3					#	
警報 4					#	

地点名: \_\_\_\_\_

判定: (○良 ×否 △注意)

項目	点検内容	判定	備考
収納箱	取付金具やステンバンド等取付部に緩みほか異常が無いこと		
	外観、形状に錆び・ヘコミ・ヒビ割れが無いこと		
集録装置	水位計接続端子台・外部電源接続端子台に錆・緩みが無いこと		
	通信ポートコネクタ部に錆、抜け、リード線挿入不良、断線が無いこと		
	電源電圧測定 10~15V		V
接続機器	接続機器への供給電圧測定 規格値: DC12V, DC24Vともに±5%以内 ※1		V
	ケーブルに劣化・被覆の破れ・小動物等の噛みキズが無いこと		
	接続端子部にリード線切れや錆び(酸化)がないこと		
	表示値が不安定であれば絶縁抵抗値・出力値を確認		下記表1参照

※1 CT-1でログイン後、「データ」メニューで測定

※ 表1

出力値	
絶縁抵抗値	MΩ

経時変動リセット

※経時警報を設定している場合には記録再開前に必ず実行すること  
 (複数設定していてもいずれかの階層下実施で一括リセットとなる)

記録開始時刻 時 分

開始時データ	瞬時	センサ出力